

小学校第5学年2組 道徳学習指導案

期 日 平成22年10月27日(水)第5校時

場 所 菊陽町立菊陽西小学校5年2組教室

指導者 教諭 工藤竜一

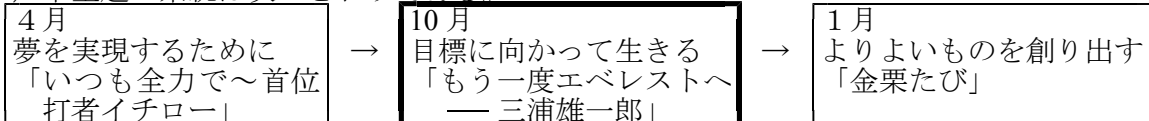
- 1 主題名 目標に向かって生きる[1-(2)希望・勇気・努力]
資料名「もう一度エベレストへ——三浦雄一郎」(文溪堂)

2 主題について

- (1) 本主題は、小学校学習指導要領高学年の指導内容1-(2)「より高い目標を立て、希望と勇気を持ってくじけないで努力する」ことをねらいとしている。粘り強く取り組む忍耐力とよりよい自己を実現しようとする向上心が結び付いてこそ、前向きな自己の生き方が自覚されてくる。

5年生の児童は、具体的な夢や目標を立てられるようになってきている。しかし、困難なことや自分の思いどおりにならないことに直面すると、すぐにあきらめたり面倒がって逃げようとしてたりしがちである。また、人を頼ったり、うまくできないことの原因を他に求めたりすることも少なくない。このような時期だからこそ、様々な人の生き方への関心を高めるとともに、計画的に努力目標を立て、くじけずに希望と勇気をもって取り組み、自分の理想に向かって着実に前進していこうとする強い意志と実行力を育てることは必要である。ともすれば楽な方へ流される傾向の社会の中で、希望を持ち、忍耐強く物事に取り組もうとする心情を育てたいと考え、本主題を設定した。

- (2) 本主題の系統は次のとおりである。



高学年の重点目標「未来への夢や目標を抱き、主体的に生きていこうとする子どもを育てる」についての系統である。

4月、資料「いつも全力で～首位打者イチロー」では、自分ができることを最後まで全力を尽くしてやり抜こうとする心情を育てることをねらいとした学習を行っている。1月には、目標に向かって自己をより発展させるために、資料「金栗たび」(くまもとの心)で、新しく進歩したものを積極的に取り入れ、工夫する態度を育てることをねらいとした学習を計画している。また、1学期は集団宿泊教室、2学期は運動会、陸上記録会などの行事を通して、自己の目標に向かって努力する体験をさせている。

- (3) 本主題に係る児童の実態は次のとおりである。(本学級児童数40人)

○道徳教育の充実につながる土台として、学級では、「育てよう！三つの力と五つの心・目指そう！日本一のクラス」を学級目標に、基本的な学習態度と生活態度の育成に力を入れている。4月から取り組んできた「自分から進んであいさつと返事をする」「時間を守る」「はき物を揃える」「無言掃除」などの共通実践事項はほとんどの児童に定着し、落ち着いて学習する雰囲気ができている。

○10月は運動会、陸上記録会、見学旅行と大きな学校行事が続いた。運動会では応援団や一人一役で係の仕事を行うなど、高学年として活躍する場面が多かった。こうした行事に向けて、一人一人が目標を持ち、学級全体で盛り上がる雰囲気があった。しかし、大きな行事が終わって、ややもすると目標を失い、学習意欲が低下してしまう時期にあたることが予想される。

○道徳の学習についてのアンケートの結果は、次のとおりである。(平成22年9月実施)

①道徳の時間に自分の考えを発表するのは好きですか。

はい(30%) いいえ(70%)

「はい」の主な理由

- ・自分の考えが受け入れられたり、返してくれるとうれしい。
- ・自分が意見を言って、クラス全体のために役立つことがうれしい。
- ・自分の考えを発表すると、すっきりする。

「いいえ」の主な理由

- ・自分の考えがみんなと違うと困るし、これでいいのかと考えてしまう。
- ・自分の意見に反対されるのがいや。
- ・自分の考えが思いつかない。まとまらない。

②道徳の学習は自分たちの生活に役に立つと思いますか。

役に立つ(25%) わりと役に立つ(67.5%) あまり役に立たない(2.5%)

ぜんぜん役に立たない(5%)

「役に立つ」場面

- ・生活の中で、やってはいけないことをやろうとしたとき。
- ・自分の行動が間違っているとき。
- ・あきらめずに最後までやり抜く気持ちが持てるようになった。

- ・ どうしようかと迷ったときに、学習したことを思い出す。
- ③より高い目標を立て、希望と勇気を持ってくじけないで努力していますか。
いつもしている (17.5%) だいたいしている (50%) 少ししている (30%)
ほとんどしていない (2.5%)

道徳の学習は自分たちの生活に役に立っていると思っている児童がほとんどであるものの、道徳の時間に自分の考えを発表することに抵抗を感じている児童が多い。これまでの授業を振り返ってみると、挙手して積極的に発表するのは決まった児童に限られている実態がある。しかし、教師が指名するとほとんどの児童は発表できる。発表に対する苦手意識を和らげるためにも、学習シートに書かせてから発表させたり、ペアやグループで話し合わせて全員が自分の考えを出せるようにするなど、学習形態を工夫する必要がある。

- (4) 本資料「もう一度エベレストへ ― 三浦雄一郎」は、70歳と75歳の時、世界最高齢で2度のエベレスト登頂に成功した三浦雄一郎さんの実話である。三浦さんは、プロスキーヤーとして、数々の記録を達成したが、その後生活が乱れ、入院を勧められるほど体調を崩してしまう。しかし、かつての夢を思い起こし、世界最高峰に再び挑戦しようと決意する。そのために、まず、日々の生活を見直し、地道な努力を始める。その結果、三浦さんは「なみだが出るほど、つらくて、きびしくて、うれしい」夢の実現を可能にした。そんな三浦さんの生き方から、より高い目標を持ち、目標実現のために日々努力しようとする心情と態度を育てることができるものと考えらる。
- (5) 指導にあたっては、次の点に留意する。
- 導入では、目標を持って何かに取り組んだ経験を出させることで、児童の意識を本時がねらいとする価値につないでいくようにする。
 - 展開前段では、資料を基にエベレストの頂上を目指した三浦さんの気持ちを考える。学習シートに書く活動を取り入れることで、児童一人一人が自分の考えを持つようにする。また、全体やグループでの話し合いを通して、生活を見直して日々努力し、目標を達成した三浦さんの生き方に共感し、ねらいとする道徳的価値に迫りたい。
 - 展開後段では、資料で高められた道徳的価値を基に、児童に生活経験を振り返らせながら、自分自身を見つめる時間としたい。ペアで話し合う活動を取り入れて、一人一人に自分を振り返らせたい。また、数人に発表をさせることで、お互いの頑張りを認め合う雰囲気をつくりたい。
 - 終末では、自己評価や学習感想を書いたり教師の話聞くことにより、より高い目標を持って努力していこうという思いをふくらませるとともに、実践意欲を高めることができるようにしたい。
 - 三浦さんが、目標を達成したときの映像 (DVD) を効果的に使い、児童が、三浦さんの生き方に共感し、自分とのかかわりで道徳的価値をとらえることができるようにする。
 - 学習の振り返りのための評価シートを用い、自分自身を見つめさせ、実践意欲を高める。

思考力、判断力、表現力等と言語活動	
本時では、思考力、判断力、表現力等を「自分の考えと自分とは異なる考え方とを比べながら、自己を振り返り、自己の価値観を見つめ直し、道徳的価値を深めること」ととらえる。そのために、目標を達成するまでの三浦さんの努力や思いを自分なりに感じ取らせ、それを基に、三浦さんの思いをグループや全体で話し合うことで、自己の価値観を見つめ直せる。また、夢の実現の後、再度挑戦した三浦さんの心情を考えることで道徳的価値を深めさせる。 また、言語活動の充実については、「自分とは異なる考え方と比べながら、自己を振り返る」ために、話し合いの質を高めることと考える。そこで、話し合う視点に応じて、グループ、ペア、全体と形態を変えることで、道徳的価値が深まる話し合いを持たせる。	

3 主題の指導計画

	各教科・その他	主な指導内容	体験的活動等
事前	道徳の時間 ・ものを大切にする心「流行おくれ」	○自分の生活を振り返り、物を大切にして、節度を守ろうとする態度を育てる。	・運動会 (10月) ・陸上記録会 (10月) ・見学旅行 (10月)
本時	道徳の時間 ①資料「もう一度エベレストへ ― 三浦雄一郎」を読んで、心に残ったことや、三浦さんの気持ちを話し合う。 ②これまでの自分の生活を振り返り、三浦さんのように頑張りたいと思うことを話し合う。 ③教師の話聞く。		
事後	学級活動 ・「3学期に向けて自分の目標を決めよう」	○最上級生への進級に向けて、自分の目標を持ち、日常的に取り組んでいこうとする態度を育てる。	・学習発表会 (12月) ・校内持久走大会 (12月)

4 本時の学習

(1) 目標 より高い目標を持ち、くじけないで努力しようとする心情を育てる。

(2) 展開

過程	学習活動【学習形態】	○主な発問・児童の反応	教師の指導上の留意点	備考
導入 5分	1 主題について自分の経験を想起する。	○みなさんは目標を持って何かに取り組んだことはありませんか。または、うまくいかなかったことはありませんか。	●ねらいとする道徳的価値へつなげる発問をすることで、本時の意欲を高める。	学習シート
展開 前段 25分	2 資料「もう一度エベレストへ——三浦雄一郎」を読んで話し合う。 (1)資料を読んで、心に残ったことを発表する。 【全体】 (2)三浦さんがエベレストの頂上に立つことができた理由を考える。【個人→グループ→全体】 (3)もう一度エベレストの頂上を目指した三浦さんの気持ちを考える。 【全体】	○今から、三浦雄一郎さんの夢の実現の過程を読んでみましょう。 ○どんなことが心に残りましたか。 ・75歳でエベレストに登るなんてすごい。 ・体をこわしたのに、もう一度チャレンジしたことがすごい。 ○三浦さんがエベレストの頂上に立つことができた理由は何でしょう。 ・夢に対する強い思いがあったから。 ・自分に合ったトレーニングでこつこつ努力したから。 ・父親や息子が頑張っていたから。 ・規則正しい生活をして、健康な体を取り戻したから。 ◎三浦さんは、どんな気持ちからもう一度、エベレストの頂上を目指したのでしょうか。 ・夢が実現したので、やればできると自信がついたから。 ・夢を持たないと、また以前の生活に戻ってしまうから。 ・日々の積み重ねができれば、さらに夢が実現できると思ったから。	●三浦さんの業績を紹介した映像を見せることで、資料を読む意欲を高める。 ●資料を読んで心に残ったことを発表させながら、写真やキーワードを提示し、三浦さんの生涯を年表の形にまとめることで、児童が資料の内容を理解できるようにする。 ●理由を全体で出し合った後、グループで一番の理由を話し合う。さらに全体で意見交換をすることで、三浦さんが夢を達成できた理由について考えを深めさせる。 ●書く活動を取り入れることで、児童の多様な考えを引き出す。また、児童全員が意欲的に思考しながら自分の考えを友達に伝えられるように、順位付けをする形でグループでの話し合いを取り入れる。 言語活動：比べて話し合う	DVD 教材文 写真 短冊 学習シート
展開 後段 10分	3 自分の生活を振り返って考える。 【ペア→全体】	○みなさんは三浦さんのような思いをしたことや、頑張ってみたいと思うことはありませんか。 ・陸上記録会に向けて、毎日の朝練習を休まず頑張った。 ・規則正しい生活をして、健康な体をつくりたい。 ・獣医さんになりたいので、自主学習を毎日頑張りたい。	●三浦さんがエベレスト再登頂を達成した時の映像を見せ、自分を振り返らせる。 ●ペアで話す内容は、自分の体験、身近な生活目標や学習の目標など、どのような内容でもよいことを伝える。目標をもって頑張ろうとしていることを認め、励ます。 言語活動：二人で対話する	DVD
終末 5分	4 教師の話を聞く。	○私の経験を聞いてください。	●自己評価と学習感想を書き、今後の実践につなげるようにする。 言語活動：まとめ、整理する	自己評価シート